

議会報告会 報告書

担当班： 3班 班代表者：森本 富夫

概要			
地区名： 村雲地区 日時： 平成25年 2月 9日(土) 15:30~ 17:00 場所： ハートピアセンター 参加人数： 33人(男 30人・女 3人)	【出席議員】 森本富夫 植村 満 前田えり子 隅田雅春 渡辺拓道	(1) 開会あいさつ： 森本 (2) 議会報告： 渡辺 (3) 質疑応答： 下記参照 (4) 意見・提言等： 下記参照 (5) 閉会あいさつ： 隅田	挨拶・総括： 森本 司会進行： 隅田 報告・PP操作： 渡辺 受付： 前田 記録： 植村 写真・会場(マイク)： 前田

【主な質疑】

質疑・意見	回答
(意見交換希望調書) ・会派結成について、議員総数 18 名という少数議員で会派を結成する必要があるのか。結成すればどのようなメリットがあるのか。会派を結成するより、全員で色々な提案や議案について協議する方がより良い方策が得られるのではないのか。	・会派とは、政策を中心とした同一の理念を共有する議員の集まりで、全国のほとんどの市議会が導入しています。篠山市議会も会派制をとっており、実質的な議会運営は会派を中心に行っています。議員には政策形成や立案能力が求められていますが、個々の議員の調査研究には限界があり、会派にて所属議員が組織的に活動することにより、政策の内容をより良いものとすることができると共に、会派内での議論や研修を行うことによって、議員の資質向上に役立ちます。 篠山市議会では、会派による一般市民を対象とした勉強会開催や、会派からの多くの政策提言が行われています。
・篠山市の将来の展望について、具体的な議論を望む。高齢化による農業衰退や、地域社会崩壊を食い止める地域リーダーとしての議員活動を望む。	・直面する多くの問題は本市だけの問題ではなく、高齢化が進む中で、市民の皆さんの協力も得ながら、議会としてしっかり取り組んでいきます。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報公開を進め、各委員会の審査もネット中継してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報公開については、議会のICT化について千葉県流山市で視察研修をおこなってきました。今後どのようにしていくか検討し、考えていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政や財政の把握に努め、助成金や補助金の精査に努められたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期政策総務常任委員会で調査しましたが、山林の状況を把握する必要があると感じています。 当初の契約や使用許可、また助成金を出すときは関心を持って調査していますが、今後更新時や変更時等もしっかりと確認していきたいと考えます。チルドレンズミュージアムや西紀運動公園の指定管理については、二度と中途辞退がないように厳しく審査しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業委員会との連携強化を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体との意見交換を行っており、農業委員会との連携に努めていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 獣害防止金網柵設置の入札は、現場の状況を踏まえた入札になっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 執行者に、意見があったことを伝えます。